

事業シート（概要説明書）

事業名	堆肥製造施設運営事業 (加茂地域、久米地域の2施設)		担当部名	産業経済部	
			担当課名	農業振興課	
事業年度	開始年度：平成8年度 終了年度：未定				
総合計画での位置付け	産業振興と雇用の創出 持続的に発展する農林水産業の振興 農業の振興				
根拠法令等	家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律				
実施方法	直接実施	委託	指定管理	補助金	その他
	実施主体・委託先等		グリーンユニオン加茂(加茂)、津山農業協同組合(久米)		
事業概要	目的 (何のために)	国が推進する家畜排せつ物等の地域ぐるみでの共同利用を実践し、畜産経営に起因する生活環境問題の解消を図る。さらに、良質な堆肥を生産することで農産物の高品質化による高付加価値型農業や資源循環型農業を確立することを目的とする。			
	対象 (誰・何を対象に)	加茂地域、久米地域の畜産農家及び、津山市全域の農家			
	事業内容 (手段、手法など)	施設の維持管理(軽微な修繕を含む)業務。 堆肥の製造・袋詰・販売等の運営。 牛糞の収集業務(久米のみ)。 利用料金の徴収及び運営経理事務。 堆肥の散布等受託業務。 学校給食残渣の堆肥化への試験研究(久米のみ) その他関連する業務。			
	事業の必要性	家畜排せつ物法の施行により、家畜排せつ物の管理について、一定の基準が義務付けられた。この2施設については、旧加茂町、旧久米町で設置されたもので、各地域の畜産農家にとって必要不可欠な施設となっている。また、農家において、良質な堆肥を利用することにより、土壌改良や高付加価値型農業に寄与している。			
(円)					
事業費	報酬(嘱託・臨時職員含む)				
	賃金				
	報償費				
	旅費				
	需用費			3,360,000	
	役務費	370,000	412,000	412,000	412,000
	委託料	13,348,000	12,502,000	12,102,000	12,102,000
	負担金、補助及び交付金				
	扶助費				
	その他(使用料、工事費等)	164,000	164,000	164,000	164,000
	合計	13,882,000	13,078,000	16,038,000	12,678,000
事業費の財源内訳	国・県からの補助金等			3,360,000	
	地方債				
	その他(広告収入等)				
	一般財源	13,882,000	13,078,000	12,678,000	12,678,000
合計	13,882,000	13,078,000	16,038,000	12,678,000	
人件費 (正規職員)	従事者数(平均給与750万円換算)	0.01	0.01	0.01	0.01
	概算人件費	75,000	75,000	75,000	75,000
総事業費(+)		13,957,000	13,153,000	16,113,000	12,753,000

事業シート（概要説明書）

事業シート（概要説明書）					
事業目的達成のための活動指標	活動指標名	単位	H20年度実績	H21年度実績	H22年度実績
	年間処理量(稼働率)・・・加茂	t	1,819(58%)	1,822(58%)	1,808(57%)
	年間処理量(稼働率)・・・久米	t	1,530(42%)	1,451(40%)	1,389(38%)
単位当たりコスト	3,263円/t(加茂)				
	4,248円/t(久米)				
目指す成果 (今後どのようにしたいか)	当該施設の利用により、畜産業に関わる周辺環境の保全を図るとともに、適切な施設管理や、良質な堆肥製造を行いながら、事業収益の増加や運営方法の改善を図っていく。				
事業の自己評価	事業目的の達成状況	施設設置以降、当施設を利用することにより、畜産業に関わる周辺環境は良好であり、悪臭や汚水等の苦情はほとんど見られない状況となっている。また、堆肥の販売実績も微増傾向となっている。			
	今後の事業の方向性 (課題・改善計画等)	<p>畜産農家において、今後とも当施設を有効利用することによって、生活環境に配慮した畜産経営を維持できるよう施設管理を行う。</p> <p>しかし、設置当時と比較して畜産農家や飼養頭数が減少傾向にあり、さらに、段階的に施設の老朽化が進み、津山市の負担増加が予測される。今後、本市が推進する「食の安心・安全」や「高付加価値型農業」、さらに資源循環型の「耕畜連携農業」の実現に向けての取組状況や、市内全域の畜産業や堆肥利用の動向等、新たな枠組みも踏まえ、施設運営について、具体的な方策を検討していく必要がある。</p> <p>なお、両施設とも国庫補助事業で整備されており、運営改善にあたっては、本市の意向のみでの実施が困難であり、関係機関との調整が必要である。</p>			
自己評価	<p>拡大・充実 現状のまま継続 効率化又は改善が必要 統合・縮小 廃止</p> <p>より効率的な運営を実施していくため、委託事業者と連携を密にし、経営改善に取り組んでおり、津山市からの委託料も年次的に減額している。</p>				
特記事項 (事業の沿革等) (他都市との比較等)	<p>事業の沿革</p> <p>加茂堆肥製造施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成6年度山村振興等農林漁業特別対策事業により整備(加茂町) ・補助金適正化法による耐用年数(平成37年度) <p>久米堆肥処理施設(ゆうきの丘)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成9年度畜産環境整備特別対策事業により整備(久米町) ・補助金適正化法による耐用年数(平成40年度) <p>学校給食残渣(調理くず・食べ残し)の堆肥化への取組み</p> <p>本市では、地域のバイオマスの利活用を推進し、地域の持続的な発展を目指し、平成20年度にバイオマスタウン構想を策定した。その中で、地域完結型リサイクルシステムが提唱されており、当施設も食育や環境教育の教材として効果的に活用することが求められてきた。こういった状況を踏まえ、平成22年度より久米堆肥処理施設において、市内の給食残渣を受け入れ、家畜糞尿処理を継続しながら、副資材としての堆肥化試験を開始した。生産した堆肥を循環資源として各学校で活用しており、環境学習の一翼を担っている。</p>				